

富士山大気観測2014データ検討会

主催：東京理科大学総合研究機構山岳大気研究部門 共催：NPO法人富士山測候所を活用する会

日時：2014年12月20日（土）13:00～17:35

会場：東京理科大学ポルタ神楽坂7階第3会議室（JRまたは地下鉄有楽町線飯田橋徒歩3分）

<http://www.risoukai.com/risoukai/activities/hall.php>

連絡先：三浦和彦 090-4965-4959 miura@rs.kagu.tus.ac.jp

1講演あたり発表8分・質疑応答2分でお願いします。

（座長）三浦和彦（東理大・理）

微量気体

13:00-13:10 「2014年のCO₂濃度観測結果」 野村渉平・向井人史（国立環境研）

13:10-13:20 「2014年夏季の富士山頂でのCO, O₃, SO₂の測定」 加藤俊吾（首都大）

13:20-13:30 「富士山頂における窒素酸化物の観測」 川筋丈嗣・和田龍一（帝京科学大）

放射能・放射線

13:30-13:40 「2014年夏季の富士山頂および太郎坊のラドン濃度の変動」 永野勝裕（東理大・理工）・横山慎太郎（東理大・理）

13:40-13:50 「富士山登山時の放射線を各種測定器で測り比べる」 松澤孝男・矢島千秋（放医研）

13:50-14:00 「Ge半導体検出器を用いた福島原発起源の放射線核種について」 齋藤将監（学芸大）

大気電気・雷観測

14:00-14:10 「2013年7月26日の放射線検知時の雷雲内電荷値推定」 高橋周作・齋藤将監・庄司智美（学芸大）

14:10-14:20 「2014年8月1日測候所における誘導雷電流の計測」 大島燦・成嶋友祐（学芸大）

14:20-14:30 「2014年山頂における高高度発光現象の定点観測とキャンペーン観測」 成嶋友祐・鈴木裕子（学芸大）

14:30-14:40 「校正された電場データを用いた晴天静穏時大気電場山岳効果の解析」 鈴木裕子（学芸大）

14:40-14:50 「自作データロガーの2013-2014年越冬通年試験の結果について」 新田英智・東郷翔帆・須藤雄志（学芸大）

14:50-15:00 「極地高所環境を利用した模擬衛星Fuji-Satの設置報告」 東郷翔帆・須藤雄志・新田英智・川本直樹（学芸大）

15:00-15:15 （休憩）

（座長）大河内博（早大）

粒子生成

15:15-15:25 「富士山頂における新粒子生成に関する研究」 片岡良太（東理大・理）

15:25-15:35 「太郎坊における粒径分布の変化要因について」 堀井憲一（東理大・理）

エアロゾル光学特性

15:35-15:45 「太郎坊におけるミー散乱ライダー計測」 矢吹正教（京大・生存研）

15:45-15:55 「富士山周辺におけるエアロゾルの光学特性」 中原勇希・柑谷大佑（東理大・理）

15:55-16:05 「富士山麓の大気エアロゾルの光学的特性」 青木一真（富山大）・中原勇希（東理大・理）

大気微量成分の化学分析

16:05-16:15 「富士山におけるPM_{2.5}, PM₁ およびナノ粒子の観測」 大石沙紀（早大）

16:15-16:25 「2014年富士山頂における大気中フミン様物質の動態と起源解析」 山之越恵理（早大）

16:25-16:35 「2014年夏季集中観測における大気中PAHsの観測結果」 小野一樹（早大）

16:35-16:45 「富士山におけるガス状水銀の観測 ～2014年夏季集中観測結果～」 小川智司（早大）

エアロゾルと雲過程

16:45-16:55 「富士山頂における霧イベント時の過飽和度の算出」 渡辺彩水（東理大・理）

16:55-17:05 「2014年富士山頂で採取した大気および雲水中VOCsの測定結果」 山本修司（早大）

17:05-17:15 「富士山における夏季集中観測期間中の雲水中重金属分析」 小川新（早大）

17:15-17:25 「富士山における雲水中懸濁態粒子の観測 ～2014年夏季集中観測結果～」 松永昂樹（早大）

17:25-17:35 「富士山斜面で測定した雲中におけるエアロゾル粒子の性状」 土井瀬菜（東理大・理）

18:00-20:00 交流会 「坐・和民」 神楽坂店

<http://t.gnavi.co.jp/p920169/map/>